


監事監査報告書

平成 28年 5月 27日

社会福祉法人 絆福社会
理事長 田中 重樹 様

監事 三好 隆夫 

監事 出上 俊一 

監事監査を行った結果を下記のとおり報告します。

記

- 1 日 時 平成 28年 5月 27日 (金) 14時 00分 ～ 17時 00分
- 2 場 所 グループホームふるさと桜 1階 多目的室
- 3 立会者 (職・氏名) 施設長 片庭 典子
(職・氏名) 施設長 大貫 智彦
- 4 監査結果 別紙のとおり

事 項	監 事 意 見
1. 定 款	グループホーム事業の定款掲載を急ぐこと。
2. 役 員	役員変更登記処理も適宜行われています。
3. 理 事	理事全員が理事会への出席をなされています。
4. 監 事	監事全員が理事会への出席をなされています。
5. 理 事 会	定款に記載のとおり開催、審議されています。
6. 人事管理	介護職員の人材不足の中、職員の確保も適切に行われています。介護職員の資質向上のため各部署ごとで計画的な指導育成に期待します。
7. 資産管理	固定資産の管理も適切になされていると認めます。建物、備品も大切に使用されていることが見て取れます。長期の修繕計画をもとに、修繕施工されればなお良いと思われます。
8. 会計管理	<p>グループホーム事業の立ち上げにより設備資金借入金及び長期運転資金借入金の単年度返済額が増加しているが、デイサービスを始め各事業が高い稼働率を維持することで合算での収支改善に繋がったと認めます。</p> <p>さらには各サービス区分毎に収支差額で赤字にならぬよう経営の工夫に期待します。</p> <p>また、H27年度から新会計基準に移行され、経理事務所の指導のもと適切に処理されています。</p>
9. 施 設 運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故対策委員会によるヒヤリハットデータの統計が、より細かく把握できるよう良く分析されています。データを活用し事故が減少することに期待します。 ・ 全体（全職員）に虐待防止の研修もなされています。 ・ 家族会や運営懇談会も適切に開催されています。 ・ 認知症介護実践研修も毎年度継続して受講されています。増加する認知症高齢者に対する処遇向上を高く意識されていると思われます。

<p>10. 利用者処遇</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職員の確保が困難な時代ですが、職員の資質向上の勉強会も毎月なされ、ケアプランを軸に職員間のチームケアがなされていると思います。特に看護、介護との連携や指導が行き届き、利用されるご家族も満足されていると評価します。 ・ さらに個別処遇も意識し、お一人おひとりに満足いただくことが継続するよう期待します。 ・ 食の楽しみを持ってもらえるよう、全サービスで季節の食材（垂水のいかなごや掘りたての筍等）を使用した献立は「ふるさと」らしいサービスです。
<p>11. その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法改正に伴い H28 年度中に評議員会の設置準備を進めて下さい。

(7面)

監事監査意見書

平成 28年 5月 27日

社会福祉法人絆福祉会

理事長 田中 重樹 殿

以上、平成 27 年度の社会福祉法人絆福祉会の事業報告書、財産目録、貸借
対照表及び収支計算書については、関連する法令及び通知に従った監査の結果、

適正 と認めます。

監事 三好 隆夫 

監事 出上 俊一 